

2024年第49回光学シンポジウム講演募集

光学シンポジウムは、光学設計者・技術者の皆様が日頃の研究、開発の成果を発表し、討論する場として、毎年開催されています。次回も下記の要領で第49回光学シンポジウムを開催いたします。多数の皆様の積極的な応募をお願いいたします。

期 日：2024年6月19日(水)～21日(金)

開催形態：ハイブリッド方式を予定(現地とオンライン)

※ご講演者は原則現地参加、ただしチュートリアルはオンライン開催のみ。現地開催の場所は東京大学生産技術研究所 An 棟。

主 催：日本光学会

共 催：応用物理学会フォトニクス分科会

応募講演の性格および内容：a) 原則として未発表のものとし、ただし、既発表のものの一部重複があっても、光学に関わる新規な内容が含まれていれば発表可能です。b) 内容は、光学システムおよび光学素子の設計、製作、評価に関連した講演を中心として、日本光学会の活動の全分野を対象とします。特に、これに関連した実際的な問題に踏み込んだ講演を歓迎し、また問題提起の講演も認めます。

応募資格：日本光学会(入会予定含む)、応用物理学会、SPIE、Optica、OSK、および協賛の学協会会員

応募方法：ホームページの講演応募方法をご参照の上、電子メールにてご応募ください。

http://myosj.or.jp/event2/opt_symp/

応募先：光学シンポジウム実行委員会講演担当宛

E-mail optsymp49-sp@myosj.or.jp

応募締切：2024年3月4日(月) 必着

予稿提出：採用した講演については、所定フォーマットのPDF形式の電子ファイルを提出していただきます。詳細は、後日案内予定の予稿原稿の書き方、ホームページをご参照ください。

予稿締切：2024年4月15日(月) 必着

問合せ先：ホームページ、または下記連絡先までお願いします。

実行委員長 中井武彦(キヤノン)

E-mail optsymp49-aud@myosj.or.jp

第27回光設計賞募集

光設計研究グループでは、光設計分野における技術交流・研究活性化を目的として、「光設計賞」を実施しています。「光設計賞」は光に関わる各種デバイスやシステムの研究・開発に携わる方の自薦の賞です。皆様が研究・開発された成果(製品・論文・特許等)を応募用紙にアピールして、ご応募ください。全応募を審査委員会にて厳正に審査し授賞します。

技術領域：「光設計」に関する研究、技術、発明など全般
審査項目：将来性、実用性、独創性の3つの観点で審査します。

表彰：光設計大賞(1件)10万円、光設計優秀賞(若干数)3万円

表彰時期：2024年度秋

応募方法：応募の詳細は下記URLをご覧ください。

応募期間：2023年12月1日～2024年4月30日(事前応募締切)、2024年5月31日必着(書類締切)

主 催：日本光学会光設計研究グループ

問合せ先：日本光学会光設計研究グループ 第27回光設計賞担当

E-mail odp27@opticsdesign.gr.jp

URL <http://www.opticsdesign.gr.jp/hikari.html>

JOEM 技術講座「OSLO-EDU を使用した光学設計入門」【PC 実習付き】

日 時：2024年3月7日(木) 13:00～16:00(新型コロナウイルス感染症の状況によっては延期もしくは中止あり)

場 所：機械振興会館別館4階(日本オプトメカトロニクス協会研修室)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、応用物理学会、日本光学工業協会、ほか

参加費：協賛50,490円(テキスト・消費税含む)

参加申込：下記URLからお申込みください。

定 員：10名

申込期限：2024年2月27日(火) 定員になり次第申込期限前でも締切

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電 話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 news の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 news 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第51巻第12号（2023年12月号）目次

「進展が進む次世代車載ネットワーク」特集号

レーザーコンパス

富士山型の教育について……………川田善正（739）

《特集》

レーザー解説

「進展が進む次世代車載ネットワーク」特集号によせて

……………各務学（740）

車載光ネットワークの総合解説……………椎野雅人（741）

980 nm Vertical Cavity Surface Emitting Laser (VCSELs) for Optical Interconnects in Automotive

……………Roger KING, Gunter LARISCH, Joseph PANKERT, Rashid SAFAISINI, and Rubén PÉREZ-ARANDA（747）

車載用 Vertical Cavity Surface Emitting Laser (VCSEL) の信頼性

……………福田光男（751）

車載用 LiDAR の開発動向……………時田主, 佐藤誠晃（757）

自動運転のための LiDAR を用いた環境認識技術

……………秋田時彦（763）

創立50周年特別

レーザーフラッシュ

レーザー医学・生物学 この10年と今後の展望

……………石飛秀和, 小川恵美悠, 川田善正, 佐藤英俊, 鈴木将之（769）

レーザーフラッシュ

賛助会員紹介

三菱電機株式会社……………（773）

研究室紹介

大阪大学大学院生命機能研究科ナノ・バイオフィotonics研究室

……………（776）

著者紹介

……………（777）

セルフフォーカス

……………（779）

レーザーカレンダー

……………（784）

「応用物理」第93巻第2号（2024年2月号）予定目次

解説

ダイヤモンドの光物性研究……………中暢子

ディラック半金属 Cd₃As₂ の薄膜作製と新しい量子ホール状態の

発見……………打田正輝, 中澤佑介, 川崎雅司

人工超格子における超伝導ダイオード効果

……………成田秀樹, 小野輝男

冷却リユードバリ原子列の超高速レーザー制御——超高速量子

コンピュータへの展開……………富田隆文, 松原卓也,

シルヴァン ド レゼルック, 大森賢治

研究紹介

酸化物透明導電膜における電子局在化と電子フォノン相互作用

……………山本哲也, パラニ ラジャセカラン, 北見尚久, 牧野久雄

ガラス・セラミックス材料の3Dプリンティング

……………丸尾昭二, 飯島志行

フェムト秒レーザー誘起表面ナノ周期構造の形成メカニズムと

応用……………宮地悟代

基礎講座

電流検出 ESR による SiC 中の欠陥検出のための +α の研究技術

……………梅田享英

焦点

4個の中性子から成る状態の観測と SAMURAI 磁気スペクトロ

メータ……………大津秀暁